

冬の感染症対策

冬はインフルエンザや感染性胃腸炎の集団発生が多い季節です。また、人の移動が増える年末年始の休み明けには、新型コロナウイルス感染症の流行も予想されます。感染症対策の知識を再確認して、感染症に備えましょう！

【問】指導予防課 ☎603-8244



Q 1

インフルエンザの予防接種は、接種した日から効果がある

正解：×

効果は約2週間後から現れます。「流行する前」に予防接種を受けることが大切です。

予防接種は、感染後の発病を抑える効果と発症後の重症化を防ぐ効果がありますが、接種したからといって感染しないというわけではありません。マスクの着用や手洗いなどの対策も併せて行いましょう。



Q 2

基礎疾患がある人はインフルエンザにかかると重症化しやすい

正解：○

糖尿病、高脂血症、狭心症や慢性呼吸器疾患などの基礎疾患がある人は、インフルエンザにかかると重症化したり、合併症を発症するリスクが高くなります。特に高齢者は基礎疾患がある人が多いため、日頃からの感染対策が重要です。



Q 3

インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の感染対策は手指衛生や消毒だけである

正解：×

インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の主な感染経路は、飛沫感染（せきやくしゃみによる感染）や接触感染（ウイルスが付いた物に触れたことによる感染）ですが、閉め切った空間や換気の悪い場所では空気感染する可能性があります。特に冬は部屋を閉め切りがちですので、定期的に窓を開けるなど換気を行うことが重要です。



Q 4

インフルエンザは熱が下がると感染力もなくなっている

正解：×

解熱後、少なくとも2日間は感染力があるとされています。症状が良くなっても感染対策を行い、家族や周りの人に感染させないように注意しましょう。



Q 5

手洗いをした後にアルコール消毒をする方法が最も効果的な手指衛生である

正解：×

「石けんと流水による丁寧な手洗い」と「アルコール消毒」はどちらも一定の効果があり、両方を行うことで効果が増すということはありません。また、濡れた手でアルコール消毒をすると十分な効果が発揮できない可能性があります。

ただし、嘔吐物や便の処理をした後、手に見える汚れが付いているときなどは、手洗いを優先して行いましょう。



Q 6

どんな感染症に対してもアルコール消毒は効果的である

正解：×

アルコールは幅広く有効ですが、効きにくいものもあります。例えばノロウイルスは、アルコール消毒が効きにくいウイルスです。

ノロウイルスの感染症対策

- ノロウイルスは熱に弱いので、食料は85～90℃で90秒以上加熱してから食べましょう。食器や寝具などにも熱湯による加熱（85℃で1分以上）が有効です。
- 感染した人の嘔吐物や便を処理するときは、次亜塩素酸ナトリウムを使用しましょう。ただし、次亜塩素酸ナトリウムは皮膚や金属に付くと肌荒れや腐食の原因となるので、使用の際は注意しましょう。



ちょい押しNG！正しい手指消毒液の量

アルコール手指消毒液の消毒効果を得るための1回の使用量は決まっています。製品によって異なりますが、通常はポンプを下まで完全に押し切ったときに出る量です。しっかりポンプを押して使いましょう。



正しい例



不十分な例

感染症の
情報

県内の感染症流行状況については、県感染症情報センターのホームページをご覧ください。



もりけんに挑戦 (11ページに掲載) の答え ②月曜日	広報もりおかへのご意見をお待ちしています アンケート専用フォームから、特集や各記事への意見をお寄せください。あなたの意見が広報もりおかを育てます。	編集後記 ITやデジタルトランスフォーメーションにより、さまざまな仕組みが変化しています。自分には関係ないと思っていましたが、試してみると意外と当たり前のことになっています。(真田)	地球環境に配慮したインキを使用しています。
-----------------------------------	--	--	-----------------------

